

質疑・回答書

告示番号		第36号	件 名	平成26年度寺内配水池耐震補強工事
No	質疑事項			回 答
33	(全般) 施工計画検討にあたり、①配水池上の許容積載荷重をご教示願います。②特にクレーン・重機等が配水池床版上に載った状態で揚重作業が施工可能であるかどうか、③制限荷重以内であれば施工可能かどうか、①～③共合わせてご教示願います。			①配水池上の許容積載荷重は人が乗る程度の荷重しか想定していません。 ②③配水池頂版上でのクレーン・重機等を使った作業は厳禁とします。
34	(全般) 管受台・バルブ受台について計上されていませんが、設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。			送水管については、既存受台を活用します。露出配管については、別途協議とします。
35	(全般) 既設水位計の移設は設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。設計上の考え方についてご教示願います。			既設水位計の移設については、発注者側で行います。
36	(全般) 配水池耐震補強および劣化補修工において、提案による工法変更は可能であるかご教示願います。			基本的に工法は変更しません。ただし、ひび割れ補修工については、ひび割れ規模に応じ、充填工やひび割れ被覆工に変える等の変更は監督職員と協議の上決めてください。

質疑・回答書

告示番号		第36号	件 名	平成26年度寺内配水池耐震補強工事
No	質疑事項			回 答
37	(全般) 不断水式挿入型分岐管について、①切換え用の弁操作機能は設計に含まれているのでしょうか。②仮に含まれている場合、弁ボックスが計上されていませんが、設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。①・②共、設計上の考え方についてご教示願います。			①弁操作機能は1回(1回切替え)のみ設計に含むものとしています。 ②切替え後、開閉操作することはないため、弁ボックスは設置せず、埋戻します。なお、管布設から切替えまでの間は、敷鉄板の開閉にて対応します。
38	(設計書P79) 配管土留工ではH形鋼・プレボーリングモンケン2tとありますが、ボーリング柱状図の記載がありませんのでご教示願います。			ボーリング柱状図については、契約後、受注者のみ提供します。なお、場内のH形鋼・プレボーリングモンケン2tの積算は、全て加重平均N値30で積算しています。
39	(設計書P397第249号単価表) 電磁流量計設置工における組合試験の範囲につきまして、0調整のみと考えてよろしいでしょうか。それとも回数指定はあるのでしょうか。設計上の調整範囲の考え方についてご教示願います。			0調整および試運転調整(実際水張り時に計測できるか確認)までと考えています。
40	(図面116/145) 排水ポンプ配管がHIVP配管となっており、恒久性の観点からジョイントをフレキシブル構造とし、鋼管を採用する方が総合的に最適と考えられますが、HIVPを設計上、恒久使用と考えてよろしいでしょうか。設計上の考え方についてご教示願います。			HIVPの恒久使用と考えています。

質疑・回答書

告示番号		第36号	件 名	平成26年度寺内配水池耐震補強工事
No	質疑事項			回 答
41	(図面129/145) 配管土留工で、既設池に腹起し(H-350)を設置する記載がありますが、取付方法についてご教示願います。			腹起し、ブラケット等の取付けについては、配水池躯体へのアンカー等による取付けを考えています。
42	(特記仕様書P10) (2)あと施工施工アンカー工にて鉄筋の位置等を事前に確認すると記載されていますが、調査費用は設計変更対象と考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。			No.7の回答を参照してください。
43	(特記仕様書P11) (6)劣化部補修工事にて、はつり、目荒し後、現地調査を行い、劣化部の現況(長さ、幅等)の確認を行う。と記載されていますが、①設計数量との差が発生した場合は設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。また、②設計書には、2号4号池についての劣化調査費の計上がありませんが、設計変更対象でしょうか、①・②共合わせてご教示願います。			①そのように考えていただいて結構です。 ②No.13の回答を参照してください。

豊中市総務部契約検査室 TEL 06-6858-2075・2076
 FAX 06-6858-7225
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp